

2020（令和2）年2月高尾山歩会-3山行報告 －陽だまりハイクと冬そば－

☆日 程：2月23日(日) 天候:晴れ 三浦(L) 加田(SL)

☆行 程：集合 JR高尾駅北口改札口 9:00

JR高尾駅北口9:32=9:40日影BT9:41⇒駐車場(準備体操)⇒10:02日影沢キャンプ場入口
⇒いろはの森10:08⇒11:04号路・つり橋分岐⇒11:10吊り橋⇒11:22浄心門「靈氣満山」⇒
仏舍利塔⇒11:50薬王院⇒12:13高尾山(599.3m)－軽く飲食のみ－13:05⇒13:18 6号路
分岐⇒13:23大山橋⇒14:00琵琶滝⇒14:20妙音橋⇒14:28高尾山ケーブル駅⇒14:30高橋家会
食(解散)⇒高尾山口駅 (注)高尾山温泉極楽湯未入浴

☆参加者(敬称略):三浦(L)、加田(SL)、河野、生田目、市川、北原(M)*、家田(F)*

*体験参加 計7名

☆所 感:好天气に恵まれ風もなくいい陽だまりハイクでした。会員の参加が少なかったが体験参加の方が2名あり楽しい足慣らしの山行でした。

行程は、当初いろはの森から稲荷山下山予定でしたが加田SLの事前入手された花の情報にしたがって4号路、6号路を経て下山した。花を探すのに時間を要し、高橋家に着くのが当初予定より約1時間半ほど遅れた。予想通り店は混んでいたがそれほど待たずに座敷に通された。印象的だったのは、いろはの森コース、4号路、6号路コースで沢沿いでは去年の台風19号の大雨による爪痕がそのまま残されており雨、水流の凄さを思い知らされた光景でした。

(三浦記)

早春の高尾山で花を探す今回の山歩会。去年の台風19号で日影沢は大きく抉れていた。沢に下りる木の橋は立ち入り禁止のテープあり。ハナネコノメやニンソウ、アズマイチゲの群生地はもしかしたら全滅かも。

事前に高尾ビジターセンターやヤマレコ記事から花の開花情報を入手し、ヤマドリソウ、アセビ、ハナネコノメを探訪のコースとなった。まず4号路から浄心門を通り男坂に咲くヤマドリソウを目指した。咲き始めはピンクで紫色の愛らしいヤマドリソウは、スマホでもなんとか撮影できた。次のターゲットは山頂の裏側に咲くアセビ、これも小さめだが白くて奇麗。

さあ、今回待望のハナネコノメは6号路しかない。稲荷山コースから6号路に入り、2014年3月28日に琵琶滝から10~15分登った場所で咲いていた花を目指す。直径4~5ミリの極小な花を根気よく丁寧に探す。

ハナネコノメを見た事のない人には探せにくい小さな小さな花だ。

そしてハナネコノメと邂逅した! こんな小さな花だったっけ?と一人で驚く。しかも咲き始め! 思い出せば前回はネオ一眼にクロズアップレンズを装着して、しかも一脚持参で1時間近くこの花と向き合った。でも今回はスマホ? 撮れる? 偶然出会った女性のご厚意でクリップレンズをお借りした画像をどうぞ(笑)偶然、直ぐそばにユリワサビも咲いていた。白い花卉に引き込まれそうだった。4月の高尾山歩会はスマレと満開の山桜に期待したい。

(加田SL 2月27日感想記)



左:ヤマドリソウ

右:ハナネコノメ

